

さくがわ・たかゆき

2021年9月、浦添市前田にさくがわクリニックを開院。モヤモヤ血管が原因で起こる長引く痛みで悩む患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供。放射線診断専門医。IVR(画像下治療)専門医・指導医。運動器カテーテル治療研究会・監事。



# 長引く痛みはなぜ起こる?

PR

vol.  
08

～新治療 さくがわクリニックのカテーテル治療～

文・佐久川 貴行(さくがわクリニック院長)

(第3週に掲載)

長引く痛みでお悩みの患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供する、浦添市前田のさくがわクリニック院長が、さまざまな疾患とその治療法について解説します。

## 採血のように手軽にできる治療法

さくがわクリニックでは肩や膝などに生じる長引く痛みに対し、主に運動器カテーテル治療を提供しています。今回はその一つ、手指や足の長引く痛みに對する「動注治療」を紹介します。

人の血管には動脈と静脈があり、心臓から全身に血液を送り出すのが動脈で、全身から心臓に戻ってくるのが静脈です。一般的に採血や点滴で使われるのは静脈で、皮下に青白く見えま

す。動脈は脈を感じることができ

る血管で、主に血圧を測る時に用いられます。当院が治療対象としているモヤモヤ血管は動脈に生じるため、動脈に注射治療を行います。これを略したのが「動注治療」です。

### 入院不要 すぐ帰宅可能

動注治療は片手、片足のみであれば5分程度で治療できます。採血のように手軽にできる治療法であり、注射針も極細のため、痛みを感じることはほとんどありません。治療後は注射針を抜き、3分間の圧迫だけで止血で

## 手指や足への「動注治療」について

どうちゅう



き、すぐ帰宅できます。

血液サラサラの薬を飲んでい

る方でも、容易に止血できるため、内服を続けたまま治療ができます。治療後、注射した所に皮下出血(青あざ)ができることはありませんが、2〜3週間で自然に消え、跡も残りません。また、当院では動脈の位置を超音波で確認しながら注射するため、普段から血管が細くて採血が難しいと言われる方でも問題なく治療を受けることができます。治療後の日常生活はいつも通りで構いません。

### 長引く痛みの治療選択肢の一つ

現状、手や足など治療部位は限られています。日帰り手術で行う運動器カテーテル治療と比べ①入院不要(初診30分／治療5〜10分)②体への負担がより

軽く③低コストで治療できます。運動器カテーテル治療と同じ薬を使うため、治療効果は同程度に期待できます。治療対象は、ヘバーデン結節、CM関節症、腱鞘炎、TFCC損傷、足底腱膜炎、外反母趾、変形性足関節症、繰り返す痛風発作などがあります。

様々な治療を受けても痛みが改善せず、生活に支障を来している方は少なくありません。長引く痛みは精神的にも負担になり、生活の質の低下にもつながります。痛みと付き合っていくしかないと言明され、治療を諦めている方もいます。3か月以上続く長引く痛みに対する治療の選択肢の一つになればと願っています。

※動注治療は、オクノクリニック(表参道・銀座・横浜)の奥野祐次総院長が2014年に開発された治療で、年間4千件の治療実績があります。



長引く痛みへの  
カテーテル治療

当院は  
自費診療  
です

五十肩、ひざの痛み、ヘバーデン結節(指の痛み)、その他関節痛

さくがわクリニック

SAKUGAWA CLINIC

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~14:00	●	●	●	▲	●	★
午後 16:20~17:40	●	▲	●	／	●	／

●/外来・手術 ▲/不定期診療 ★/10:00~11:40

浦添市前田1丁目11番1号 1階

予約制 ☎098-877-5577

https://www.sakugawa-clinic.com/